

新たな口腔ケアによる 健康寿命の延伸を目指して

株式会社 再春館製薬所

伊藤 安矢

私たちが目指す未来

「明日が楽しみ」と思える毎日を。

ポジティブエイジカンパニーとして、フレイル対策への挑戦。

熊本県の現状



深刻な高齢化

全国平均を上回る
高齢化率。
健康寿命の延伸は
待ったなし。



フレイルの現実

要介護の前段階「
フレイル」。
この対策こそが
解決の鍵。



口腔機能の衰え

フレイルの入り口
は「口の健康」に
ある。

口腔ケアの「見過ごされた壁」

64%

「何をすべきかわからない」

80%

40-50代の歯周病罹患率
(熊本)

意識はあるが、具体策がわからない。

私たちの新たなアプローチ

「磨く・ゆすぐ」 + 「食べる」という新習慣。

なぜ『食べる』アプローチなのか？

3つの革新的な利点



1. 自浄作用の活性化

唾液の力で、自然な
防御システムをブースト。



2. 攻めの成分補給

有効成分を直接、
口内隅々まで届ける。



3. 圧倒的な継続性

「義務」から「楽しみ」へ。
美味しさで続く習慣。

結論：無理なく続く、新しい口腔健康習慣の確立へ。

実証実験の目的

科学的検証への挑戦

「食品による口腔ケア」の科学的検証。

おいしい未来の証明

「手軽でおいしい」習慣で口腔環境を改善。



期待すること

口腔環境への効果

- 歯周病リスクの低減
- 歯茎の腫れ・出血の改善

取り入れやすさの検証

- 食後の心理的ハードルの検証
- 継続性・市場性の課題抽出

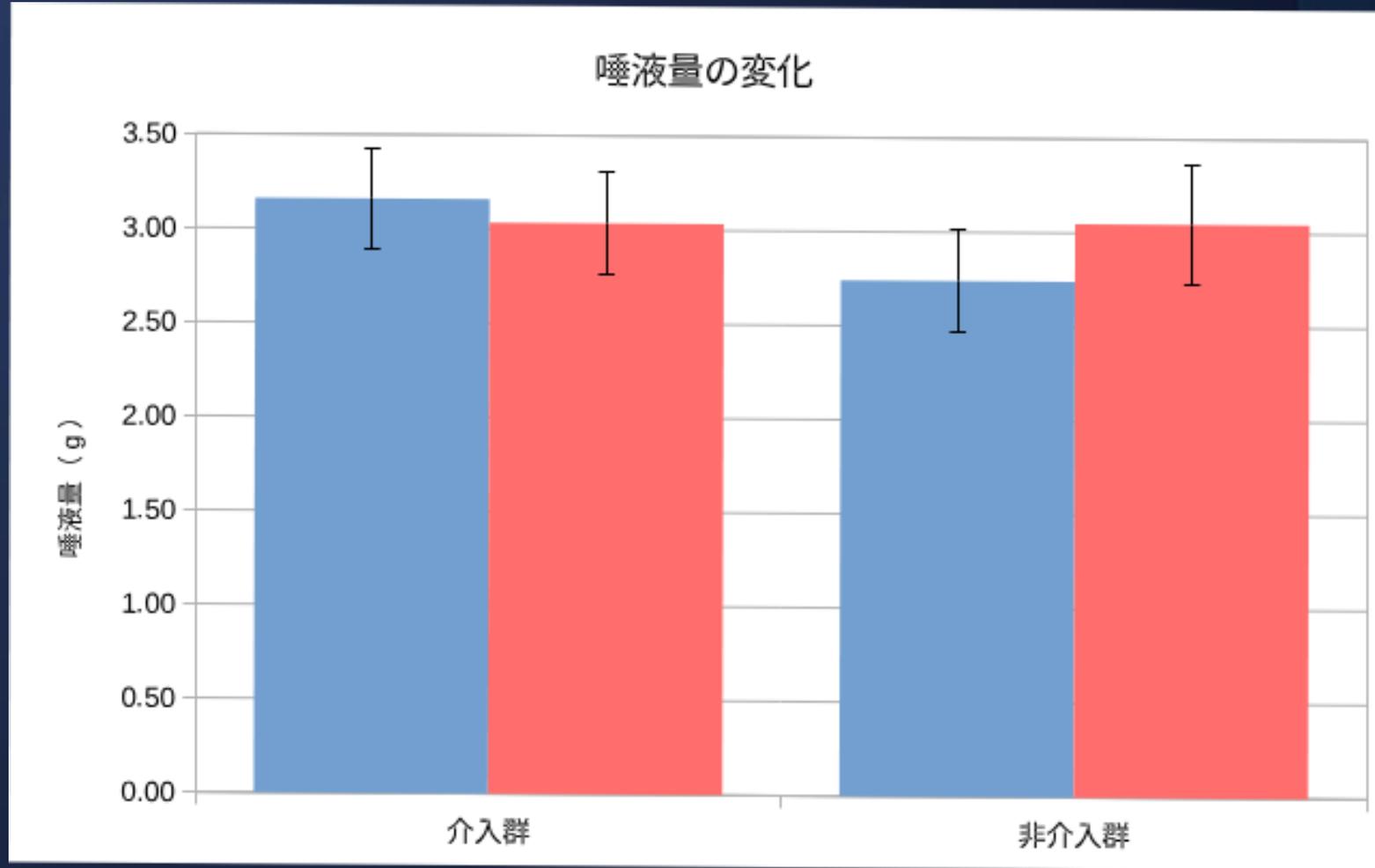


実証試験のデザイン

項目	内容
対象者	介入群（35名） / 非介入群（30名）
介入内容	<u>生キャラメル</u> ※を1日3回、食後に摂取
期間	14日間
主な評価	唾液量、唾液中出血量、pH、炎症性物質、アンケート

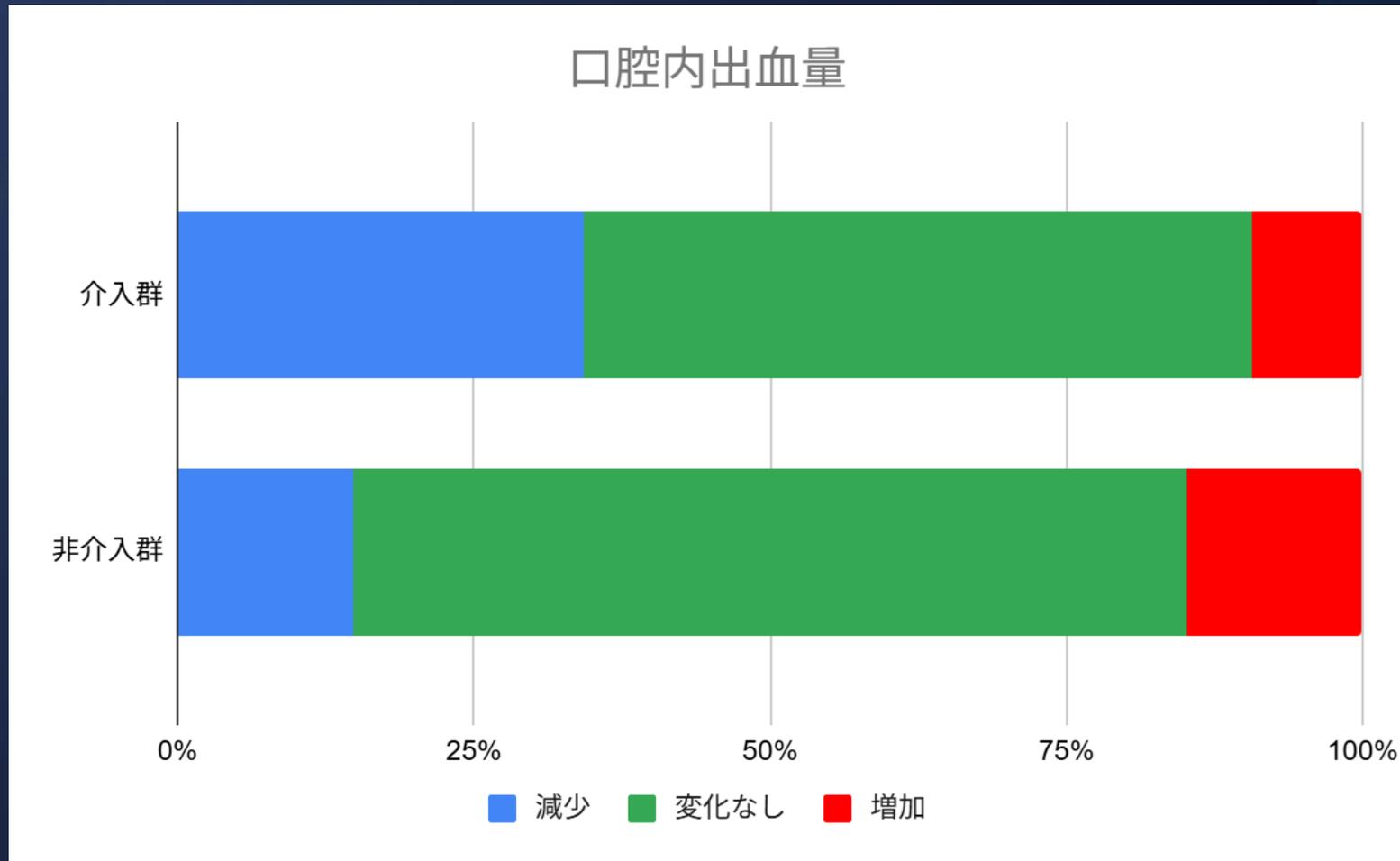
成分が長くとどまる「生キャラメル」を採用。なめ溶かして全体へ浸透させる。

結果：唾液量



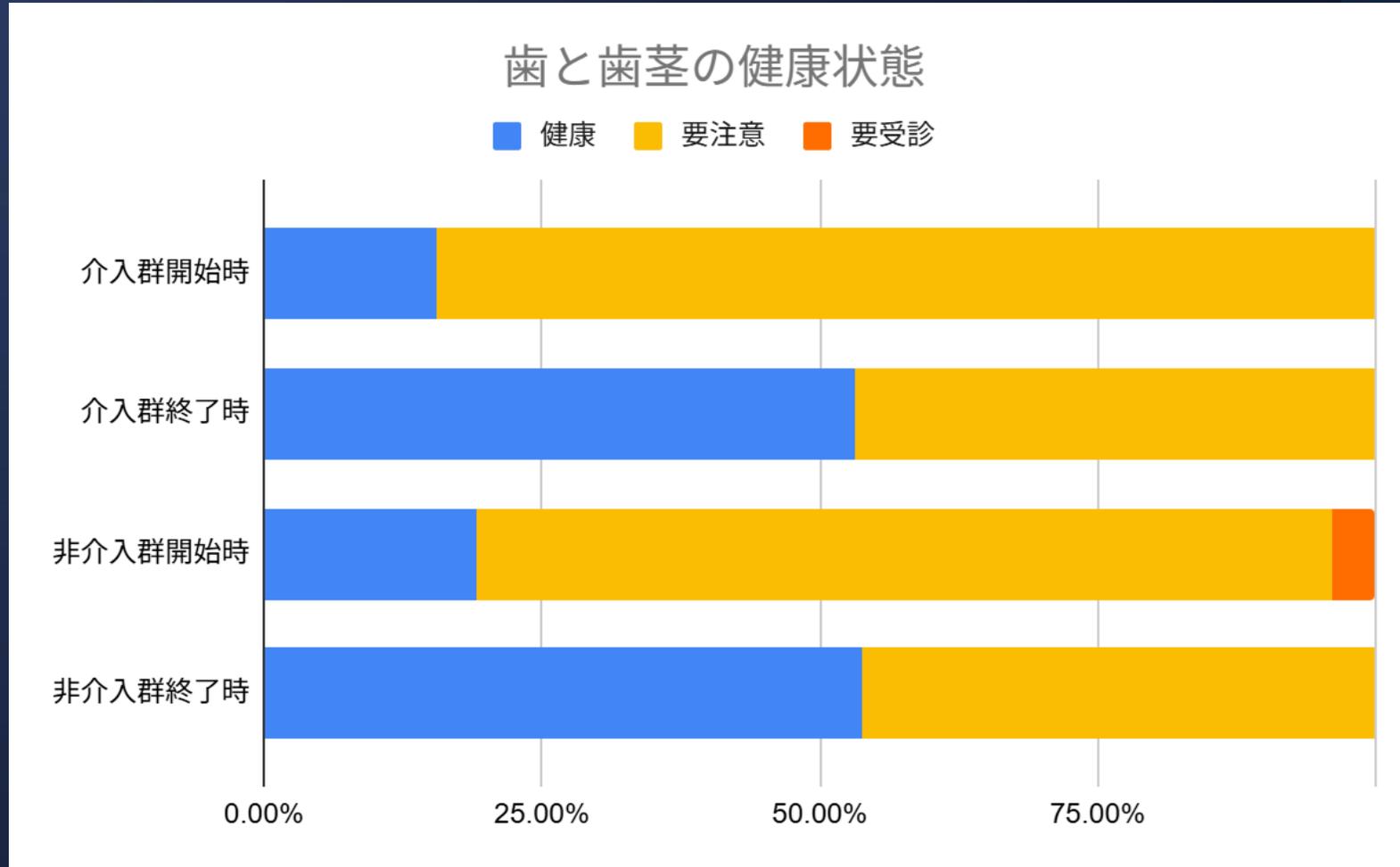
i 試験前後での有意な差は見られなかった

結果：口腔内出血状態



介入群で出血改善率が高い。食品による口腔ケアの可能性を確認。

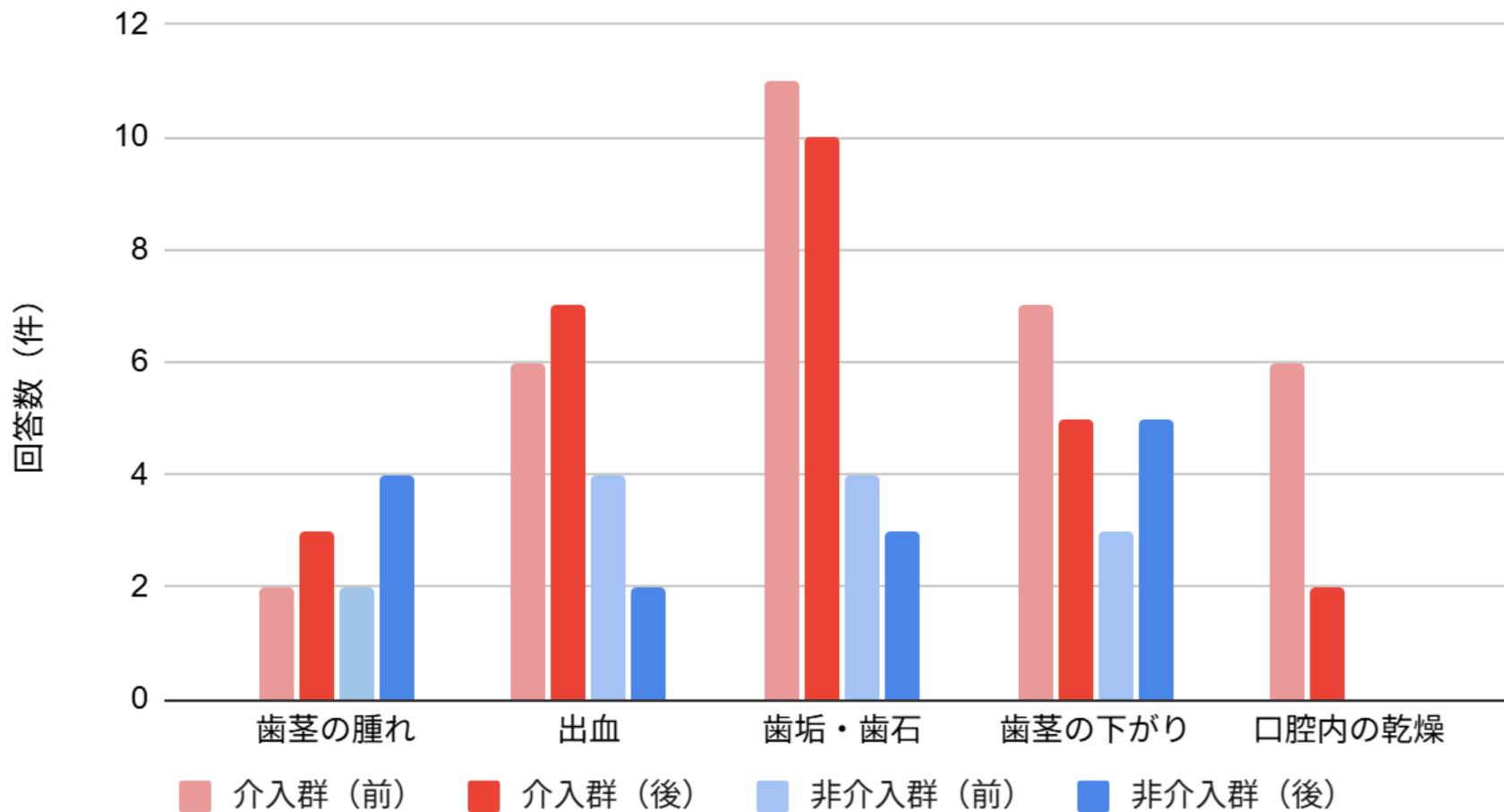
結果：歯周病リスク画像診断



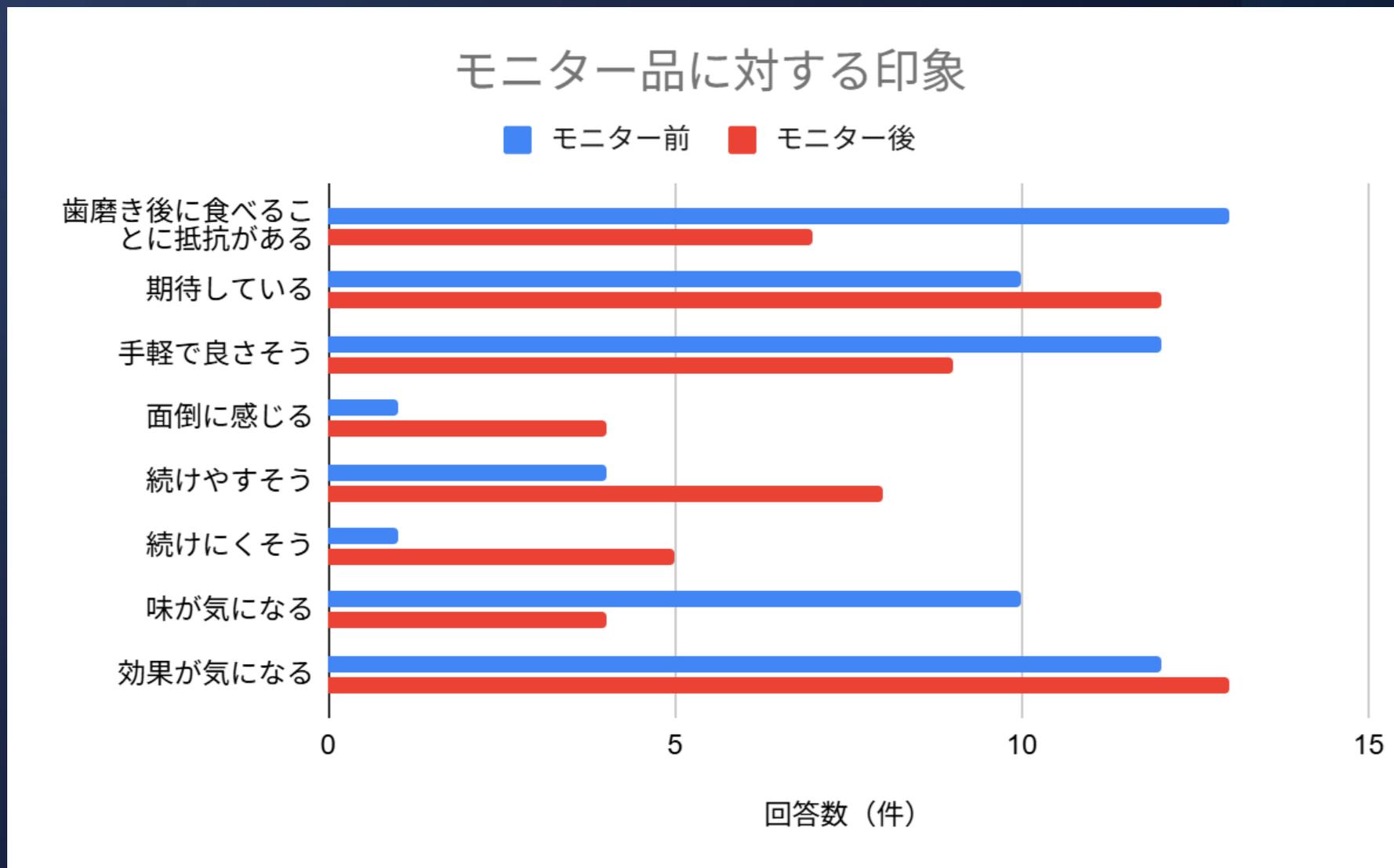
非介入群も同様に改善。直接的影響の検証が今後の課題。

モニターアンケート結果

歯と歯茎の状態で気になること



モニターアンケート結果（介入群のみ）



モニターアンケート結果



期待値の高さ

「スイーツでケアできる」
というコンセプトには
強い関心が寄せられた。



心理的ハードル

「歯磨き後に食べる」ことへの
抵抗感・罪悪感も一部で確認。

結果まとめ

今後の課題

短期間（2週間）の介入では、有意な改善を確認できず。

重要な成果

「磨いた後に食べても大丈夫」という、実用化への確かな一歩。

今後の展望

解決すべき課題

○効果検証

対象人数・試験期間を拡大してさらなる検証を実施

○商品形状の検討

食べやすさ、持ち歩きやすさ、品質安定性などを考慮

○心理的ハードル

食後に食べることへの抵抗感を払拭する

これらの課題を解決すべく検討を重ね、市場投入を目指します。

共に創る、新しい未来

「明日が楽しみ」と思える毎日を作るために。

口腔ケアを新習慣へ。

歯周病リスクを低減し、健やかな毎日をデザインする。

再春館製藥所